

憲法9条をいかし、平和を守りましょう

日本を戦争をする国にしてはなりません、平和と民主主義をまもりましょう。

『九条の会』は平和憲法を守る、憲法9条を変えさせないという思いで、活動しています。
みなさん、いっしょに、戦争する国づくりに反対しましょう。

半田 滋



1955年(昭和30年)栃木県宇都宮市生まれ。下野新聞社を経て、1991年中日新聞社入社。東京新聞編集局社会部記者を経て、2007年8月より編集委員。2011年1月より論説委員兼務。1993年防衛庁防衛研究所特別課程修了。1992年より防衛庁取材を担当し、米国、ロシア、韓国、カンボジア、イラクなど海外取材の経験豊富。防衛政策や自衛隊、米軍の活動について、新聞や月刊誌に論考を多数発表している。

2004年、中国が東シナ海の日中中間線付近に建設を開始した春暁ガス田群をスクープした。2007年、東京新聞・中日新聞連載の「新防人考」で第13回平和・協同ジャーナリスト基金賞(大賞)を受賞。

著書に、「日本は戦争をするのか—集団的自衛権と自衛隊」(岩波新書)、「集団的自衛権のトリックと安倍改憲」(高文研)、「改憲と国防」(共著、旬報社)、「防衛融解 指針なき日本の安全保障」(旬報社)、「『戦地』派遣 変わる自衛隊」(岩波新書) = 09年度日本ジャーナリスト会議(JCJ)賞受賞、「自衛隊 vs 北朝鮮」(新潮新書)、「闘えない軍隊」(講談社+a新書)などがある。

平和と沖縄を語り、歌い、踊る

海勢頭 豊



1943年沖縄県与那城町(現うるま市)平安座生まれ。シンガーソングライター、作曲家。1962年に琉球大学ギターアンサンブルを創設。沖縄を代表する音楽家であり、復帰前の激動期から今日に至るまで沖縄の社会状況と沖縄の心を歌い続けてきました。

1982年に文化庁主催・沖縄県本土復帰10周年記念コンサートにて「さとうきびの花」を演奏し、NHK「みんなのうた(歌・都はるみ)」で放送されました。

1995年沖縄戦終結50周年記念作品として、沖縄戦の実相を描いた映画『GAMA(ガマ)〜月桃の花』の制作責任者と音楽を担当、資金難で何度も撮影中断の憂き目にあいながら1996年4月に完成。全国で上映されました。

主な歌に、恩納岳・ブート岳に砲弾を打ち込む米軍の実弾射撃演習を阻止しようとした、喜瀬武原(きせんばる) 闘争を歌った「喜瀬武原」、沖縄の戦後風景を、さとうきびの花に託して歌った「さとうきびの花」、沖縄戦で亡くなった人への鎮魂歌「月桃(げっとう)」、職を求めて島を出ていく娘への愛憎の情を歌った「チルグウー」などがあります。

作曲家としても広く活動し、1984年に沖縄初の県民オペラ「太陽の反逆」、アニメ映画「かんからさんしん」などの映画音楽や琉球舞踊のための作曲も多くあります。

浜盛 重則



与那国島出身。大学進学のため名古屋に移り住んで以来、名古屋市在住。

故郷を離れてみて、改めて沖縄文化の素晴らしさを思い、全国に伝えていきたいと、三線を手にエイサー団体とバンドを結成し、活動を始める。

リトルワールドの「うりずん祭り」や「名古屋広小路まつり」、遠くはニューヨーク同時多発テロの跡地と精力的に演奏活動を行なっているほか、2009年からは沖縄の魅力を紹介するCBCラジオの番組「ちばりよー沖縄」のパーソナリティを務めている。

こうした取り組みが評価され、2004年に沖縄県知事から沖縄を発信する「美ら島沖縄大使」に任命され、2012年には東久邇宮文化褒章を受けた。

